

参 考 手 本

自笑紅塵を走る

自 笑  
紅 塵  
走

※これは規定課題ではありません。

高 木 聖 雨 先 生

参 考 手 本

松花鶴を伴いて飛ぶ

松  
花  
鶴  
を  
伴  
い  
て  
飛  
ぶ

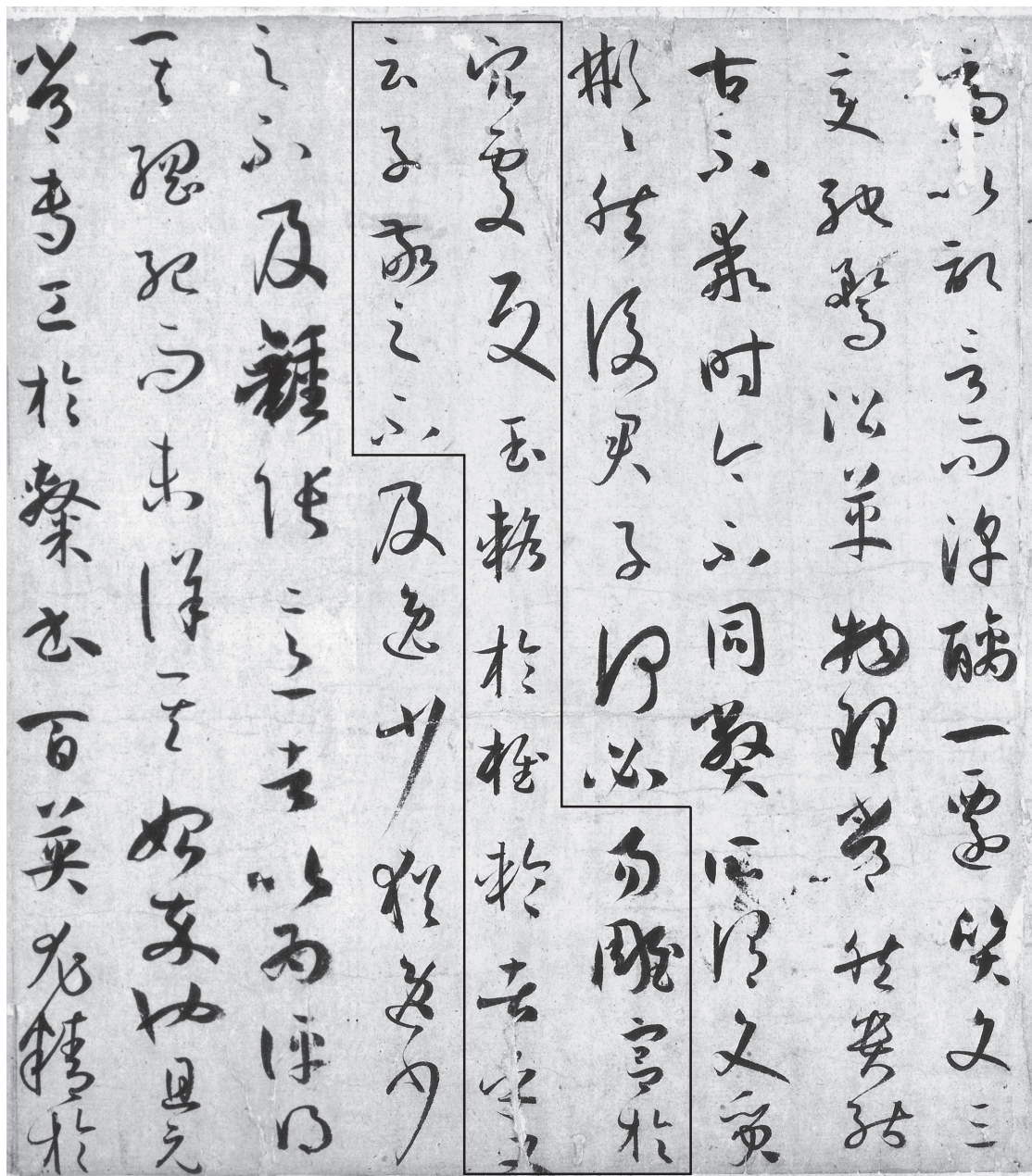
成  
瀬  
映  
山  
先  
生

※これは規定課題ではありません。

# 条幅規定

A部 (準五段以上)

『書譜』⑫ 孫過庭



易  
離  
言  
手  
又

適以記言。而淳醜一遷。質文三變。馳騫沿革。物理常然。貴能古不乖時。今不同弊。所謂文質彬彬。然後君子。何必易雕宮於穴處。反玉輅於椎輪者乎。又云。子敬之不及逸少。猶逸少之不及鍾張。意者。以爲評得其綱紀。而未詳其始卒也。且元常專工於隸書。百英尤精於

適に以て言を記すと雖も、而れども淳醜は一たび遷り、質文は三たび變ぜり。馳騫沿革は、物理常に然り。能く古にして時に乖かず、今にして弊を同じくせざるを貴ぶ。所謂文質彬彬として、然る後に君子たるなり。何ぞ必ずしも雕宮を穴處に易え、玉輅を椎輪に反す者あらんや。又云く、子敬の逸少に及ばざるは、猶逸少の鍾張に及ばざるがごとしと。意者、以て其の綱紀を評し得たりと爲すも、而れども未だ其の始卒を詳らかにせざるなり。且つ元常専ら隸書を工にし、百英は尤も草体に精なり。

## 【今月の課題】

「易雕宮於穴處反玉輅於椎輪者乎又云子敬之不」

(20字)

【この課題を同月の条幅随意には出品出来ません】

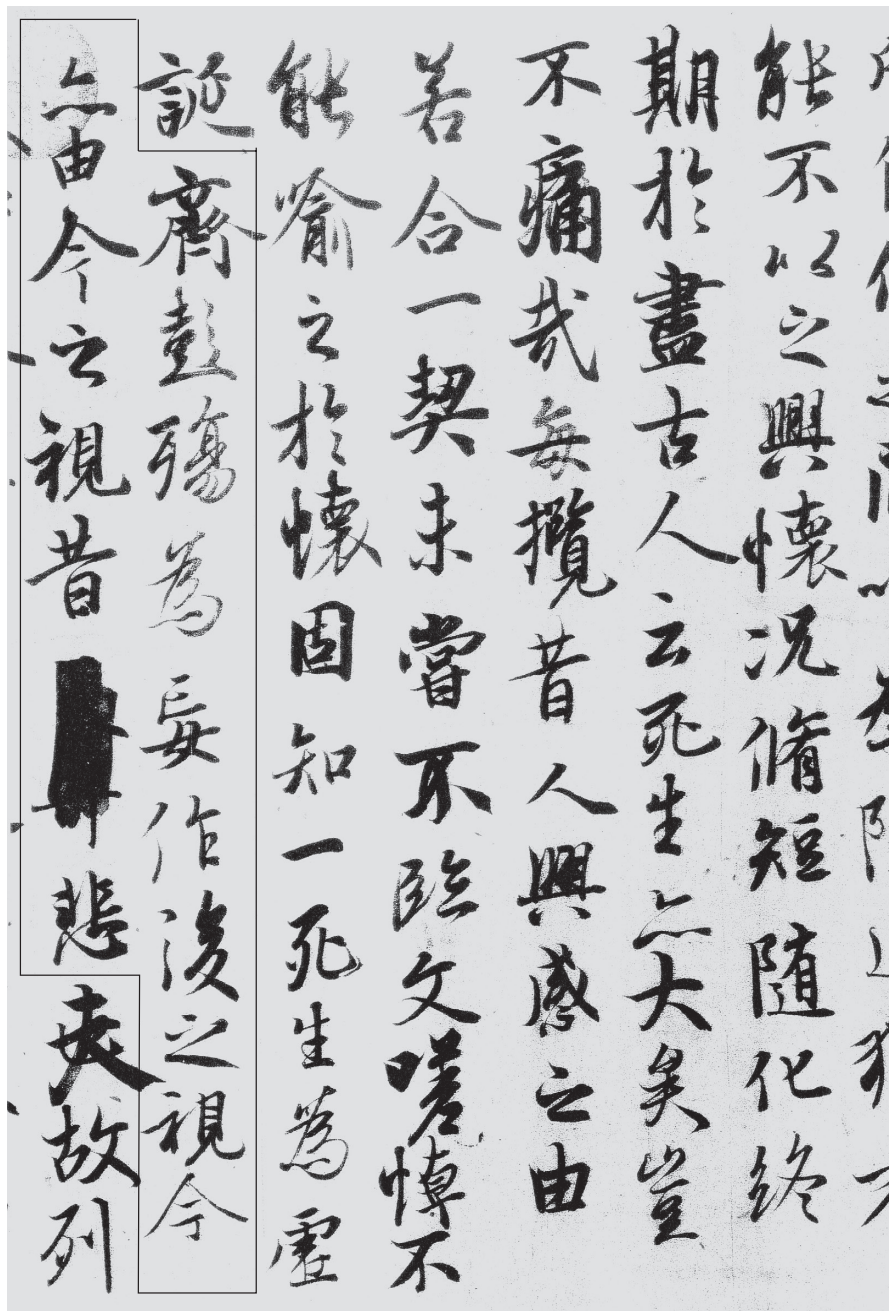
条幅のバーコード出品券にはA・Bでは無く段・級を記入してください

(5月10日締切)

条幅規定

B部（四段以下）

『蘭亭叙』 王羲之（東晋）



齊彭殤為妄悲

能不以之興懷。況脩短隨化。終期於盡。古人云。死生亦大矣。豈不痛哉。每攬昔人興感之由。若合一契。未嘗不臨文嗟悼。不能喻之於懷。固知一死生為虛誕。齊彭殤為妄作。後之視今。亦由今之視昔。悲夫。故列。

これを以て懷を興さざる能わず。況んや脩短は化に随い、終に尽くるに期するをや。古人云う、死生も亦た大なりと。豈に痛ましからずや。毎に昔人興感の由を攬るに、一契を合するが若し。未だ嘗て文に臨んで嗟悼せずんばあらず。之を懷に喻すこと能わず。固より死生を一にするは虚誕たり、彭殤を齊しくするは妄作たるを知る。後の今を視るも、亦た由お今の昔を視るがごとし。悲しいかな。

【今月の課題】

「齊彭殤為妄作後之視今亦由今之視昔悲」

(17字)

【この課題を同月の条幅随意には出品出来ません】

条幅のバーコード出品券にはA・Bでは無く段・級を記入してください

(5月10日締切)

半紙規定 (二)

半紙規定 (一)

曹全碑 (漢・作者不詳)

孝廉謁者金

孝廉謁者金

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

孝廉謁者・金成

九成宮醴泉銘 (唐・欧陽詢)

懷搗挹推而弗

懷搗挹推而弗

※清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書

〔二級以下〕楷書

搗挹を懐き、推して有せず

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕  
(5月10日締切)

条幅参考手本

窓戸迎新燕  
階除集乳鷓  
欲知春已暮  
地上亦無花

野口紫仙先生

窓戸迎新燕 階除集乳鷓 欲知春已暮 地上亦無花  
窓戸新燕を迎え 階除乳鷓を集む 春すでに暮るるを知らんと欲すれば 地上亦花無し

田辺紅園先生

白日依山盡  
黃河入海流  
欲窮千里目  
更上一層樓

田辺紅園先生

白日依山盡 黃河入海流 欲窮千里目 更上一層樓  
白日山に依って尽き 黃河海に入って流る 千里の目を窮めんと欲し 更に一層の樓に上る

条幅参考手本

春眠不覺曉 處處聞啼鳥  
夜來風雨聲 花落知多少

來風雨聲 花落知多少

江華

細野江華先生

春眠不覺曉 處處聞啼鳥 夜來風雨聲 花落知多少  
春眠曉を覚えず 処処啼鳥を聞く 夜來風雨の聲 花落つること知んぬ多少

浮乗清郷先生

条幅かな

山さくら咲きそめしより久方の雲居にみゆる瀧の白糸

山 桜 さ 支 利 悲 辭 可 多 耳 三 源 俊 頼

支部名 段級 姓号 (鉛筆)

山さくら咲きそめしより久方の雲居にみゆる瀧の白糸 (源 俊頼)

※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左下部に添え書きして下さい。

(5月10日締切)

半紙かな（1級以下）

ゆざく斜と桜さくらもてくる帝九留月夜哉つきよかな  
可奈  
(鈴木道彦)

ゆざく と さくら もてくる 月夜哉  
ゆざく と さくら もてくる 月夜哉  
ゆざく と さくら もてくる 月夜哉

支部名 級 姓 号 (鉛筆)

※ちらし文字変換は自由

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

半紙かな（初段以上）

山ざとの斜かきねに可支春はるやしる二者志からんかす可まぬさきに万鶯うぐいすのなく支二 要九日春 那具  
(源隆国)

船久保 棠苑先生

※ちらし文字変換は自由

山ざとの かきねに 春 やしる からんかす まぬさきに 鶯 のなく  
山ざとの かきねに 春 やしる からんかす まぬさきに 鶯 のなく  
山ざとの かきねに 春 やしる からんかす まぬさきに 鶯 のなく

支部名 段 姓 号 (鉛筆)

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

(5月10日締切)

# 実 用 文

※準三段以上…行書を草書に変換は自由

〈書風任意〉

書が今日のように飛達する為には  
直接強い影響を与えたものに筆  
墨紙などの用具の持つ特殊性は  
無視することはできません

支部名

段級

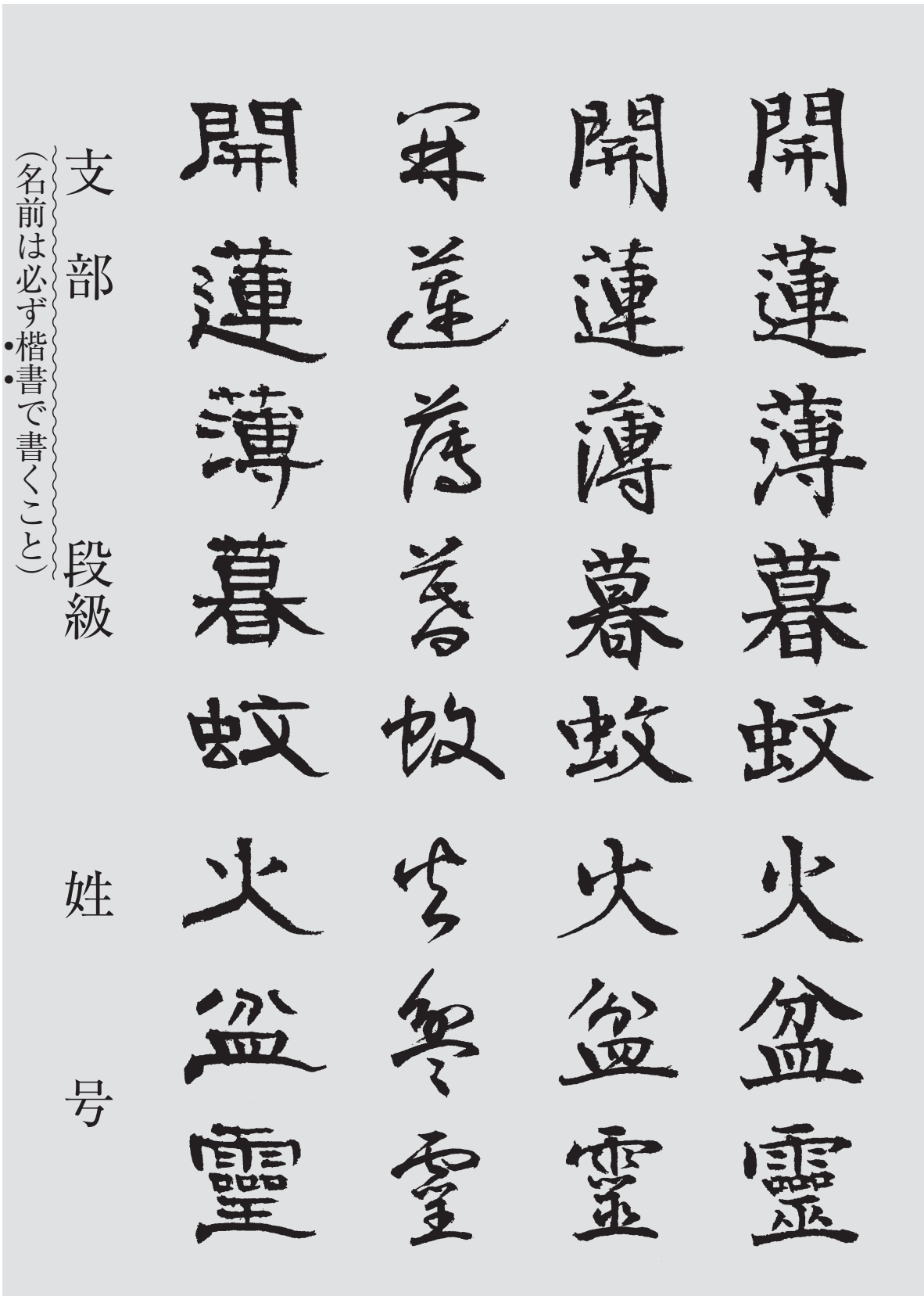
姓

号

大井岳陵先生

(5月10日締切)

細 字



支部  
段級  
姓  
号

(名前は必ず楷書で書くこと)

※一級〜八級は草書まで。 初段以上は隷書まで。 ※名前は楷書以外では違反になります。 17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

蚊ぶん開かい  
火か蓮れん  
蚊ぶん火か  
蓮れんの花がひらく。  
薄はく暮ぼ  
蚊ぶん火か  
蚊ぶん火か  
薄はく暮ぼ  
ゆうぐれ。

硬筆（1級以下）

2行、楷書

歌舞伎は長い歴史の中で工夫を重ね  
 生き続けてきた伝統芸能です。

支部 級 姓 号

齊藤 翡翠 流 先生

硬筆（初段以上）

3行、行草書

…進み…日常…未来…自然…。

地球温暖化が進み、異常気象が  
 日々にならうつつある。未来の為に自然  
 の声にもっと耳を傾けよう。

支部 名 義 姓 号

青柳 江雲 先生

※本院定型用紙・たて半分を書く

（5月10日締切）

中2用

支  
部  
名  
草  
木  
美  
し  
い

段  
級

名  
前

渡邊南嶂先生

中3用

支  
部  
名  
母  
校  
の  
統  
統

段  
級

名  
前

大越三宗先生

小6用

支  
部  
名  
草  
庭  
花  
の

段  
級

名  
前

渡邊南嶂先生

中1用

支  
部  
名  
山  
里  
鳥  
な  
く

段  
級

名  
前

渡邊南嶂先生

5月10日締切並びに前期昇段級試験課題（5月15日締切）

小4用

支部名  
段級  
名前

ば五  
れ月

大越三宗先生

小5用

支部名  
段級  
名前

見雲  
るを

大越三宗先生

小2用

支部名  
段級  
名前

マツ  
バ

鈴木翡翠先生

小3用

支部名  
段級  
名前

こ子  
ね

鈴木翡翠先生

5月10日締切並びに前期昇段級試験課題（5月15日締切）

中1

世界の国旗の図案は、  
星が多く使われている。

中1~中3

中2

日本は四季の変化に富  
んだ美しい自然がある。

青柳江

中3

北日本では四月後半が  
桜の満開予想です。

雲先生

小1・幼年用

支部名

段級

名

前

みみ

鈴木蕙先生

小1・幼年

たいまぐろ、かに、  
ふり、えび、いか。

小1~小3

小2

あおい空に小さなくも  
が、ぽっかりうかぶ。

鈴木蕙

小3

人間が生きるために、  
水はかかせない。

翠先生

小4

草原で少年が犬といっ  
しよに走っています。

小4~小6

小5

信号が青になり、車が  
いっせいに走り出した。

田邊翠

小6

現代人は、自然への愛  
情を失いかけている。

鶴先生

5月10日締切並びに前期昇段級試験課題（5月15日締切）

小学部小筆課題

支部名 段級 名前 前

美しい  
春の草花

主幹 菅野翠壽

中学部かな課題

支部名 段級 名前 前

菜の花や  
昼ひよこ  
の音  
海

船久保 棠苑先生

※半紙半分に書いて下さい。

※半紙半分に書いて下さい。

5月10日締切並びに前期昇段級試験課題（5月15日締切）

6月10日締切課題予告

6月10日締切分のA部条幅規定が『蜀素帖』（米芾・宋）に変わります

A部条幅規定 擬古青松勁挺姿凌霄霄恥屈盤種種出枝葉牽連上

B部条幅規定 夫故列叙時人録其所述雖世殊事異所以

かな条幅規定 おのが音につらき別れのありとだに思ひもしらで鳥の鳴くらむ（藻壁門院少将）

半紙規定（初段以上） 城長史夏陽

半紙規定（一級以下） 有雖休勿休

半紙かな（初段以上） 山吹もおなじかざしの花なれどくもみの桜なほぞ恋しき（藤原惟信）

半紙かな（一級以下） ゆふがほや竹焼く寺のうすけぶり（与謝蕪村）

実用文 同じ視覚芸術である絵画では一度描いたものは何遍でも修正して描きなおすことができませんが書の場合は不可能です

一般硬筆（初段以上） 美しい文字は美しい所作から生まれる。姿勢を正すことで筆の流れも整っていく。

一般硬筆（一級以下） 散歩は脂肪を主なエネルギー源として使う有酸素運動の一つです。

令和8年書道コンクール6月12日締切課題

高校毛筆 萬里来清風

高校硬筆 換鷺五月号13ページ一般硬筆一級以下課題（行書でも可）

中三毛筆 成長の記録

中三硬筆 短歌と俳句は我が国独特に発展したものだ。

中二毛筆 野山の草花

中二硬筆 他人の批判より、自己反省に心を向けよう。

中一毛筆 夏山に登る

中一硬筆 紙の資源である森林は地球にとって宝です。

小六毛筆 広い野原

小六硬筆 田園の風景がみずみずしい季節。初夏も近い。

小五毛筆 水と空気

小五硬筆 広い野原を思うぞん分かけ回ってみたい。

小四毛筆 大きな声

小四硬筆 庭の草花が、いつせいにさき始めました。

小三毛筆 ほし空

小三硬筆 きれいな花や、うつくしい音楽がすきです。

小二毛筆 メロン

小二硬筆 田んぼの水にお日さまがきらきらうつる。

小一毛筆 はと

小一硬筆 かもめ、はくちょう、あひる、うぐいす。